

## 5. 津之江公園

近年、環境に対する関心の高まりから「河川法」が改正され、治水・利水に加え、河川環境の整備と保全が法の目的に位置づけられ、自然とのふれあいのニーズが高まる中で、市の都市シンボル軸である芥川は、都市の中の貴重な自然とのふれあいの場となっています。

このような状況の中で、ふるさとの川、芥川が地域の人々にさらに親しめる川になるよう、平成17年に市民・市民団体・学識経験者・行政などで組織する『芥川倶楽部』が設立され、住民と行政の協働による「川づくり」の取り組みが始まりました。

この津之江公園自然再生計画は、芥川の取り組みの基本的な指針である「芥川創生基本構想」（平成18年9月、芥川倶楽部・大阪府・高槻市）に基づき、市民、学識経験者等の意見を踏まえて策定しました。この自然再生計画に基づき、国と共同で平成20年度10月中旬から公園整備に着手しました。また、平成21年春からは、動植物のモニタリングを開始しました。

1) 津之江公園は、高槻市の中心を流れる芥川と女瀬川(によぜがわ)の合流点にある自然再生公園です。

2) 園内の池では、フナやメダカの魚類、カルガモなどの鳥類のほか昆虫類などの動植物が普通に観察できる環境を目指して自然再生計画が進められています。

3) 昆虫類ではトンボやヒメボタルの生息域の拡大。そして将来は、ヘイケボタルも観られるように土壌環境も整えられています。

4) 動植物の環境を整えるため、この公園には遊具などの設備はありません。

5) 展望広場と広い草地のみとなっています。主に散歩やジョギングといった運動を楽しむ場所として市民に利用されています。

6) 外周は遊歩道が整備されているので、ジョギングコースに最適ですね！

7) 設備は、簡易トイレと手洗い場、展望広場にはベンチがあります。

